

授業科目

音響学

担当教員名 吉岡 豊	対象学年	1	対象学科	言語
	開講時期	前期a	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	◎		

授業の概要

言語聴覚士として必要な音の性質に関する知識を習得する。

授業の目的

音声分析、補聴器フィッティングに必要な音そのものの特徴について理解する。

学習目標

1. 音の性質（屈折、回折など）について理解する。
2. 音響学で用いる用語について説明できる。
3. 音の単位dBについて理解し計算できる。
4. 音のスペクトルについて理解する。
5. 音声の音響学的特徴を理解する。
6. 音のAD変換について述べる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	音について	講義	吉岡 豊
2	音の強さの尺度（dBについて）	講義（指数と対数の学習が必要）	吉岡 豊
3	音のスペクトル	講義	吉岡 豊
4	フィルター（伝達関数）	講義	吉岡 豊
5	音声生成の音響学（フィルター理論）	講義	吉岡 豊
6	音声の音響学	講義	吉岡 豊
7	音声のAD変換（標本化）	講義	吉岡 豊
8	音声のAD変換（量子化）	講義	吉岡 豊

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	言語聴覚士の音響学入門	吉田友敬	KAIBUNDO	2005年	2,600円+税	
参考書	言語聴覚士のための音響学	今泉 敏	医歯薬出版社	2007年	3,800円+税	
	ゼロからはじめる音響学	青木直史	講談社	2014年	2,600円+税	
	言語聴覚士のための基礎知識 音声学・言語学	今泉 敏 編集	医学書院	2009年	3,800円+税	
その他の資料						

評価方法

定期試験の結果を持って評価する。

履修上の留意点

教科書に付いているCDを積極的に活用すること。

オフィスアワー・連絡先

オフィスアワー：毎週水曜日9:00～10:00まで
連絡先：yoshioka@nuhw.ac.jp